

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・個々に1年生はアサガオを育て、2年生は野菜を育てた。植物の成長を観察する中で、大きく育つ様子に気付いたり、愛着をもって世話をしたりすることができた。
- ・自分の成長を振り返る活動では、身体の成長に加えて心身の成長にも視点を向けさせた。家庭の中での役割を自覚させたり、もっとやってみたいことなどを考えさせたりする中で、家族や友達などと関わって生活していることについて考えることができた。
- ・学校探検では、学習のゴールを明確にし、少人数グループを作って探検することで、目的意識をもって活動することができた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、1・2年生の直接交流はできなかったが、動画を用いて間接的な交流を行うことができた。

(2) 課題

- ・植物や生き物の観察の際に、タブレットを活用しようとする、見たり触ったりする時間が少なくなってしまうことがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、1、2年生の直接交流活動ができなかった。
- ・町探検でインタビューを行うことができなかった。次年度、直接インタビューすることが難しい場合にはゲストティーチャーを依頼するなどして、町の方からお話を頂く機会を設けたい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物や植物の成長に気付いたり、愛着をもって世話をしたりできるように、一人一個の植物を育てたり、グループで一つの生き物を育てる。(指導計画・授業構成)</li> <li>・異学年との関わりをもち、優しく接することができた自分の成長や、役割が増えたことに気付くことができるようにする。(指導計画)</li> <li>・個人での気づきを全体で共有できるように、それぞれが書いた学習カードの内容を共有する時間を設けたり、共通点に気付いて、理解を深めたりできるようにする。(授業構成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培活動や観察活動を通して気付いた植物や生き物の成長や変化について、自分なりにまとめたり、表現したりできるように、観察カードを用意したり、ICTを活用して記録をしたりする。(授業構成)</li> <li>・身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるように、インタビューやゲストティーチャーを招いて授業を行う。(指導計画、学習構成)</li> <li>・気づきや考えを広げたり深めたりできるように、友達と共有する場面を設定する。(指導計画、授業構成)</li> <li>・児童が気付いたことや自分の思いを表現しやすくするために、観察活動では、観察の視点を明確にする。(指導計画)</li> <li>・児童が楽しく遊べるように、動くおもちゃを作る活動を通して、ルールや約束の工夫を考えさせるようにする。(指導計画)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ができるようになったことを友達に伝え合ったり、自分の役割を増やしたりして、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとするために、自分自身の生活や成長を振り返る活動を取り入れる。(指導計画、授業構成)</li> <li>・たくさんの気づきに触れることができるようにするために、体験的な活動を多く設定する。(指導計画)</li> <li>・目的意識をもって取り組むことができるように、学習のゴールを示し、それにあった授業形態で行う。(指導計画、授業形態)</li> <li>・身近な自然・地域に目を向け、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりすることができるように、継続的に観察を行ったり、自分たちの生活や成長について振り返ったりする機会を設ける。(指導計画、授業構成)</li> </ul>

### 3 今年度授業改善プラン成果と課題

#### (1) 成果

- ・植物の成長を観察する中で、大きく育つ様子に気付いたり、愛着をもって世話をしたりすることができた。また、スクールライフサポーターの方と連携して、野菜について説明してもらいながら栽培活動を行うことができた。
- ・自分の生活を振り返り、「えがおいっぱい だいさくせん」を実施することを通して、家族の笑顔を増やしたいという意欲もち、家族の一員としてすすんで活動することができた。
- ・学習カードの内容を書画カメラで映しながら発表したり、スクールタクトで作った課題を共同閲覧したりすることを通して、個人での気付きを全体で共有し、考えを広げることができた。
- ・学習後の表現、情報共有について、絵や紙芝居、ペープサート、クイズ、すごろくなど、様々な方法の中から選択して、自分たちの考えたことやまとめたことを発表することができた。

#### (2) 課題

- ・植物や生き物の観察の際に、タブレットを活用しようとする、見たり触ったりする時間が少なくなってしまうことがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、1、2年生の直接交流活動ができなかった。
- ・町探検でインタビューを行うことができなかった。次年度、直接インタビューすることが難しい場合にはゲストティーチャーを依頼するなどして、町の方からお話を頂く機会を設けたい。